様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月25日

群馬県知事　　山本　一太　様

提出者　　〒３７６－０１２４
住　所　群馬県桐生市新里町小林４７番地

氏　名　大川建設株式会社　代表取締役　大川　弘志

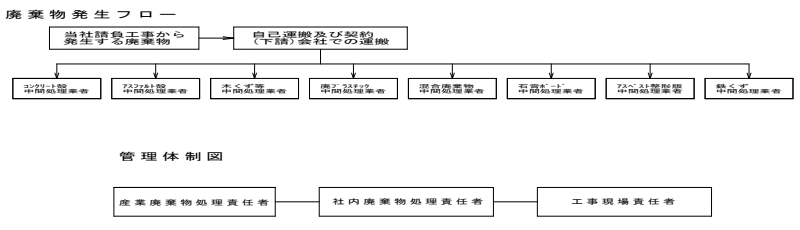
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０２７７－７４－８２３１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大川建設株式会社
事業場の所在地	群馬県桐生市新里町小林４７番地
計画期間	令和８年４月１日～令和９年３月３１日

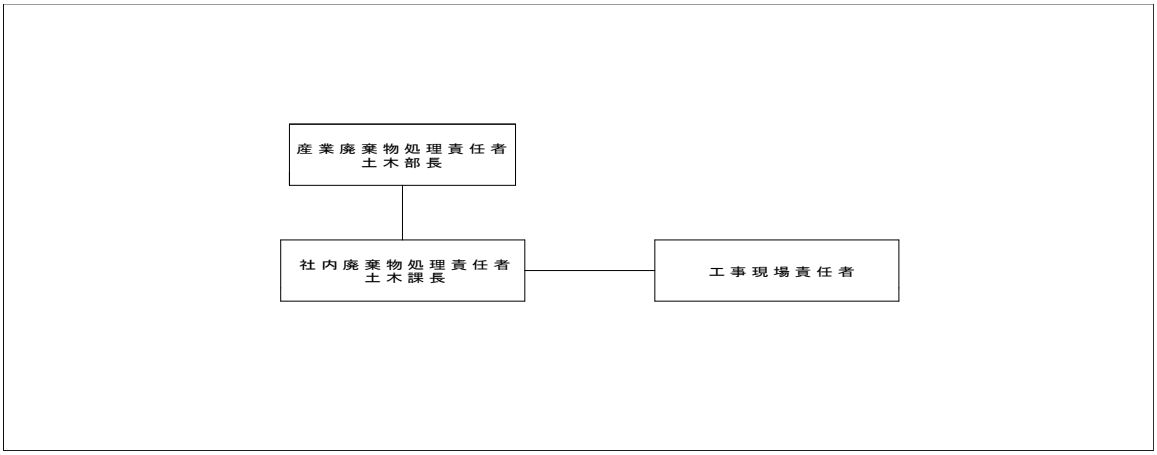
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	６２５，５４５千円
③従業員数	３０人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和７ 年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排　　出　　量	2691.07 t	535.26 t

（これまでに実施した取組）
弊社から排出される廃棄物の殆どがコンクリート殻、アスファルト殻であるが、それは既設公共施設を撤去する際に発生している。しかし現場内作業でも廃棄物は少量だが発生する場合があり、それらを抑制する工夫や端材の出ない資材を極力工夫して工事に取り入れている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排　　出　　量	2000 t	500 t

（今後実施する予定の取組）
今後も現場内作業で廃棄物は少量だが発生する場合があり、それらを抑制する工夫や端材の出ない資材を極力工夫して工事に取り入れていく。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場ごとに解体及び搬出時、分別処理を工事現場担当者が作業員に周知・指示をして、品目毎に処理業者へ運搬処理している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
今後も各廃棄物が混沌とならぬよう、各工事現場担当者が作業員に周知徹底を図り、指示する。

金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	汚泥
4.14　t	1.17　t	2.097　t	1.089　t

t	t	t	t

13号廃棄物			
0.912　t	t	t	t

t	t	t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
実施無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
実施予定無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７ 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
実施無し</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
実施予定無し</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和７ 年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
実施無し

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
実施予定無し

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
全処理委託量	2691.07 t	535.26 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	2691.07 t	535.26 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

t	t	t	t

t	t	t	t

金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	汚泥
4.14 t	1.17 t	2.097 t	1.089 t
t	t	t	t
4.14 t	1.17 t	2.097 t	1.089 t
t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

13号廃棄物			
0.912 t	t	t	t
t	t	t	t
0.912 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>2000　t</td><td>500　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td>2000　t</td><td>500　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>